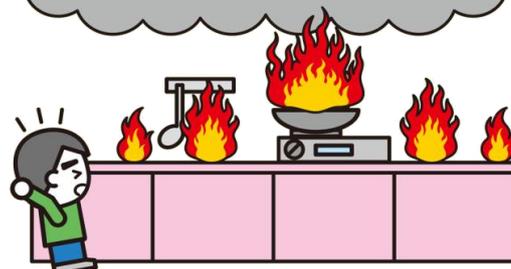


～ 家庭に潜む～ 身近な火災の原因



・コンロ（住宅火災の原因上位！）

コンロの近くに置いたふきんや雑巾、キッチンペーパー等に引火したり、調理の際に火元（特に天ぷら油！）から離れてしまい、出火する事例が数多くあります。

火の近くには燃えやすい物を置かず、コンロ使用中は絶対に火から離れないようにしましょう！



・電気火災（火を使わないから安全かと思いきや…？）

・トラッキング現象

長い間コンセントに差し込まれたプラグにホコリや湿気が付着してショートし、発熱・発火してしまう現象です。特に、冷蔵庫のような差しっぱなしのプラグにはホコリが溜まりがちになります。こまめにコンセントの掃除をしたり、使用していない電化製品のプラグは抜いておきましょう！

また、最近はプラグ自体にトラッキング防止が施されている製品もあります。



▲ 通常のプラグ(左)とトラッキング防止プラグ(右)

・電源コードの圧迫

電源コードを家具などの重たい物で踏みつけたり、束ねた状態で使用したりすると、その部分が圧迫されて負荷がかかりコードが断線したり、発熱・発火する恐れがあります。電源コードの上に重たい物を載せたり、束ねたまま使用しないようにしましょう！



火災件数0の国立市を目指しましょう！



国立市消防団 第三分団

消防器具置場住所：国立市谷保5913-1

担当区域：千丑・石神・富士見台二丁目

所属人数：分団長以下17名

出初式



年初めに開催されます。
自主防災組織等、地域の皆さんも参加
していただいています。

消防操法大会



消防車の操作、放水の精度を競います。
これにより、火災現場での迅速かつ安全を確保
した行動につながります。（隔年開催）
※今年は感染症の影響で中止となりましたが、
次回は観覧にきてください！

水防訓練



台風や大雨時の水害被害に備え、土嚢
作成・設置などの技能を習得します。
（近隣の立川、昭島市との共同開催）

国立市総合防災訓練



消火器の使用法、防災グッズや非常食の紹介、
火災時の煙体験、救急法などを、実際に体験し
ていただけます。

文化財防火デー



市内文化財を火災
から守るため、実
際に放水して訓練
を行います。

歳末特別警戒



年末・年始に火災が起きないように、地域
の見回り、呼びかけを行っています。

消防団の活動

上記以外にも、各種研修（救命法や消防車の扱い等）の受
講、市や自治会と協同し、各避難所の運営訓練への参加等、
火災や災害時に地域防災の役割を果たせるよう、適宜研鑽
しています。

国立市消防団 第六分団

消防器具置場住所：国立市北 2-38-6

担当区域：中・西・北

所属人数：分団長以下18名

「はたらく消防の写生会」

国立市では小学校の図工の時間に、東京消防庁と連携した「はたらく消防の写生会」という授業があります。消防士や消防車両を間近で見て写生することにより、消防の仕事への関心や防火・防災への意識を高めることを目的としています。

そこでは、国立市消防団も消防ポンプ車に乗って写生会に参加し、活動服や耐火服を着て写生会のモデルになっています。

子どもたちは自由に絵を描いていて、消防車全体を描く子どもがいれば、消防車のレバーや計器を細かく描く子ども等、一人ひとり異なる視点で描きます。中には、まだ習っていない漢字があるにもかかわらず、「国立市消防団第六分団」と書き、ポンプ車を詳細に表現してくれる子どももいます。



絵を描く他に、子どもたちからは、「消防車ってカッコいいな」や「消防車のあの部分は何のために使うの」等、たくさんの反応や質問がありますが、一番多い質問はこちら・・・

「消防車はなぜ赤いの??」

答えは、国の省令で「緊急自動車の車体の色は、消防自動車にあっては朱色」と定められているからです。消防車が朱色（赤色）とされた理由は定かではありませんが、一説には外国から輸入した消防車が赤であったからだと言われています。

このように、子供たちが写生会を通じて消防への興味が沸いたり、関心が高まると私たち消防団員もうれいすし、日々の活動の励みとなります。消防団は火災出動だけでなく、地域で防火・防災の啓発活動を行い、地域とのつながりを築いています。お住まいの地域で、防火・防災の活動やイベントがありましたら、是非、積極的に参加してみてください!!

【 令和3年度写生会 子どもたちの作品 】



地震の備え、してありますか？

「明日地震が来る」と言われたら、今日、何をしますか？

「——何もしない。対策はもう十分してあるので」と言えたら良いですね！

災害を・忘れた時こそ・準備せよ！
地震でも安心できる部屋づくり

～「家具は必ず倒れるもの」～



家具などの転倒によるケガは、ケガ人の内訳の3割～5割を占めています。また、阪神淡路大震災では犠牲者の約1割が家具の転倒による圧死でした。家具は震度5ぐらいから倒れます。建物の階が高くなれば、それより小さい揺れでも倒れることがあります。大地震が発生したら「家具は必ず倒れる」と考えて、転倒防止対策をしましょう！

・家具は転倒しないよう、L型金具やポール式・ストッパー式の金具で、壁や天井に固定する

避難グッズ・備蓄食料の確認

《すぐに避難できるように、非常用持ち出しバッグを準備しましょう！》

- ・飲料水、食料品（カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
- ・貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）
- ・救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
- ・マスク、軍手
- ・懐中電灯、携帯ラジオ、電池、携帯電話の充電器
- ・衣類、下着、毛布、タオル
- ・洗面用具、歯ブラシ、使い捨てカイロ、ウェットティッシュ、携帯トイレ

※乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなど

《家にとどまる場合に備えて、備蓄も準備しましょう！》

- ・飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）
- ・非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- ・トイレットペーパー、ティッシュ・マッチ、ろうそく・カセットコンロなど

※大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

※飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクなどを用意しておきましょう。



出火報の出動状況 令和3年1月～3月

火災出動8件

（内訳：火災5件、誤報3件）

出動人員471人



Kunitachi
Fire
Volunteer
Corps

SAKURA SAFE KUNITACHO RAINBOW

Women's Team

お問い合わせ・発行

国立市消防団 国立市役所 行政管理部 防災安全課

〒186-8501 国立市富士見台 2-47-1 電話：042-576-2111（内線146）